令和８年度東北中学校体育大会
第４８回東北中学校スケート・アイスホッケー大会要項
アイスホッケー競技

１　目　　的　この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学生を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。

２　主　　催　東北中学校体育連盟　福島県アイスホッケー連盟　福島県教育委員会
郡山市教育委員会

３　後　　援　東北地区中学校長会　福島県中学校長会　青森県教育委員会　岩手県教育委員会
宮城県教育委員会　秋田県教育委員会　山形県教育委員会
(公財)福島県ｽﾎﾟｰﾂ協会　郡山市　共同通信社仙台支社

４　主　　管　福島県中学校体育連盟　県中地区中学校体育連盟　郡山市アイスホッケー協会

５　会　　期　令和８年 12 月 19 日（土）～12 月 20 日（日）
【日程】　12 月 19 日（土）監督会議　10:00　磐梯熱海アイスアリーナ
競技(1回戦～準決勝)　11:00　〃
12 月 20 日（日）競技(決勝)　9:00　〃
閉 会 式　※表彰のみ（代表者）競技終了後　〃

６　会　　場　磐梯熱海アイスアリーナ
〒963-1303　郡山市熱海町玉川字反田１－１　TEL024-984-5377

７　参加資格　(1)　学校教育法第 1条に定める中学校※に在籍し、各県中学校体育連盟加盟校に在籍する生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部とする。

(2)　同一年度内の参加者は、全種目を通じて一人１種目とする。
ただし、スキー、スケート、アイスホッケー、駅伝については、特例として兼ねることを認める。

(3)　チーム編成は学校単位とするが、団体種目において単独チーム編成困難校については、「救済措置」の趣旨から別紙「合同チーム参加細則」に基づき複数校合同チームの参加特例を認める。詳細は別紙「アイスホッケー競技別掲」による。

(4)　拠点校部活動の参加
現行の（公財）日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程」の範囲内を原則とし、各県中学校体育連盟に承認され、東北大会出場権を得たチームについては参加を認める。

(5)　単独チーム編成困難校又は複数校合同チームと拠点校部活動における同一チームでの参加
現行の東北中学校体育連盟「東北中学校体育大会合同チーム参加細則」及び（公財）日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規定」に則っていることを条件に、各県中学校体育連盟、同専門部、事業主体の連携した判断により、単独チーム編成困難校又は複数校合同チームと拠点校部活動を合わせた形での参加を認める。

(6)　過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満 16歳に達する年度まで出場できるものとする。

(7)　参加資格の特例（各種学校等）
①　学校教育法第134条の各種学校（１条校以外）に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②　参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。
ア　東北大会の参加を認める条件
（ア）東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
（イ）生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
（ウ）参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
イ　東北大会に参加した場合に守るべき条件
（ア）東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
（イ）東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率するこ

と。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

（ウ）大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(8)　参加資格の特例（地域クラブ活動に所属する中学生）※認定地域クラブ活動を含む

① 地域クラブ活動に所属し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

②東北大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

ア　東北大会の参加を認める条件

（ア）東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

（イ）生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）

（ウ）地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

（エ）『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和４年12月27日　スポーツ庁・文化庁）の「Ⅱ　新たな地域クラブ活動」及び『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』（令和７年12月　文部科学省）を遵守していること。

（オ）当該競技を管轄する中央競技団体もしくは各県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で各県中学校体育連盟に登録していること。

（カ）各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

（キ）地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ　東北大会に参加した場合に守るべき条件

（ア）東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

（イ）東北大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表（指導）者が生徒を引率・監督すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

（ウ）東北大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

（エ）団体競技（種目）における地域クラブ活動名での出場は１チームのみとする（複数のチームの参加はできない。）

ウ　チーム編成の条件（東北中体連独自の取決め）

団体競技（種目）に参加する際は、同一県内中学校に在籍する選手でチームを編成することとし、県境を越えたチーム編成は認めない。

エ　参加を認めない場合

本大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 この特例は、令和５年４月１日より適用する。

※2 上記特例については、専門部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※3 上記特例については、今後も検討を続けていく。

８　引率者及び監督等

(1) 学校においては、引率責任者及び監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で登録できる学校は１校のみであること。

①　満20歳以上であること。

②　主催者から要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。

③　次のいずれかに当てはまる者とする。

ア　教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ　自治体（含む教育委員会）、体育（スポーツ）協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

※ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の２に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

(2) 外部・校外コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部・校外コーチとしてベンチに入ることは認めない。マネージャーは出場校の教員又は生徒とする。

※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。

※校外コーチ…クラブ・道場などの指導に当たっている者。

(3) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で監督、コーチとして登録できるチームは１校（チーム）のみであること。

(4) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者で

あることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。

(5) 学校において、引率・監督について東北大会開催基準や引率細則に当てはまらない状況がある場合には所属県中体連が当該大会実行委員会へ相談すること。

9 参加数 (1) 各県２チーム以内。(ただし、選抜チームは各県１チーム)

(2) チームの監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとしてベンチに入ることのできる人数は４名以内とし、選手登録はＧＫを含む１１名以上 25 名以内とする。試合前にオールメンバー表を提出する際に、ベンチ入りメンバーＧＫ２名以内、プレーヤー20 名以内とする。

10 競技規則 (1) ＩＩＨＦ競技規則及びＪＩＨＦ競技規則による。その他大会要項による。

(2) 選手は必ず、ヘルメット、フェイスマスク(Ｊフック装着済みのもの)、ネックガード（ＩＩＨＦ公認のもの)、マウスピース(透明、白、肌色以外のもの)を着用すること。

(3) ベンチ入りする生徒は危険防止のため、全員ヘルメット、フェイスマスクを着用すること。ゲームの続行が不可能になった場合は、その時点で相手チームの不戦勝とする。

11 競技方法 (1) 競技は、参加チームのトーナメント戦により順位を決定する。

(2) 各ピリオドは正味 15 分とし、インターバルは５分とする。
（決勝のみ各ピリオド 20 分、インターバル 10 分)

(3) 決勝戦を除き 10 点差以上の差がついた時点で、次のフェイスオフ以降ゲームタイムはランニングタイムとする。
ア　点差が縮まった場合でも継続する。
イ　次の場合は、時計を止めるものとする。
(ア)得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
(イ)反則発生時一旦止めるが、次のフェイスオフでスタートする。
(ウ) 選手が負傷し交換に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などは、レフェリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートする。
ウ　反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティーベンチから出られない。

(4) 第３ピリオド終了時、同スコアの場合は、３分間のインターミッションの後に、５分間のサドンデス方式（３on３）による延長戦を行う。それでも決しない場合は、直ちに、３名による PSS（ﾍﾟﾅﾙﾃｨｰｼｮｯﾄｼｭｰﾄｱｳﾄ）により勝敗を決する。それでも決しない場合は、引き続き両チームに１名ずつのサドンデス方式による PSS（ﾍﾟﾅﾙﾃｨｰｼｮｯﾄｼｭｰﾄｱｳﾄ）によって勝敗を決する。

12 組合せ 主催団体の責任抽選とし、本大会主管団体が行う。２チーム出場している県については、２チームを別のブロックに入れる。また、前年度優勝、準優勝のチームもしくは当該県の代表チームを第２シードまでとし、残りをフリー抽選とする。

13 表　彰 優勝チームには優勝カップを授与する。２位まで賞状を授与する。

14 参加料 (1)参加生徒一人 2，000 円とする。（選手のみ、マネージャーは含まない）

(2)参加申込後の出場辞退や欠場の場合における参加料の返金は行わない。

(3)参加料の納入については、令和８年 12 月３日(木)までに、宿泊・弁当の振込と同時に指定業者の口座に振り込むこと。なお、振込手数料は参加校が負担すること。

【振込先】銀行名　みずほ銀行　支店名　福島支店
口座種別　普通　口座番号　1936401
口座名義　株式会社日本旅行東北福島支店

15 参加申込 【申込締切】令和８年 12 月３日（木）正午　必着

申込用紙は、福島県中体連 HP よりダウンロードし、所定の参加申込用紙に必要事項を記入の上、各県中体連スケート専門部を通して、下記に E-mail で申し込むこと。

※校長（代表責任者）の記名押印した原本をＰＤＦ化（ただし、フルカラー、300dpi 以上に限る）して送信すること。

※E-mail の参加申込にはプログラム掲載用のユニフォーム着用の選手集合写真をデータで添付すること。

【申込先】　第 48 回東北中学校スケート・アイスホッケー大会実行委員会
担当　丸岡　歳和　TEL：024-984-3167
E-mail：maruoka.toshikazu@fcs.ed.jp

16 諸 会 議　監督会議　令和８年 12 月 19 日（土）10:00

17 宿　　泊　宿泊要項は別紙とする。
大会出場者（引率・監督・コーチ・選手・トレーナー・マネージャー）の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。

18 そ の 他
(1) 本大会は全国大会の予選を兼ねる(全国大会出場は上位５チーム)。
(2) 単独・合同チームが５チームに満たない場合は、残りの出場枠はトーナメント戦の上位チームとする。ただし、同順位の場合は閉会式終了後に代表決定戦を行い決定する。
(3) （公財）日本中体連アイスホッケー競技細則により、全国大会に出場できる地域クラブ活動のチームは、各都道府県１チームまでとする。これにより、本大会で同一県の地域クラブ活動のチームが５位以内に複数入賞した場合、代表決定戦を行い、決定する。
(4) ３位決定戦は行わない。
(5) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証（マイナンバーカード等）を持参することが望ましい。
申込に使用する漢字は原則として常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。
ただし、それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は実行委員会へ相談すること。
(6) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校（チーム）名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
(7) 観戦者における競技会場内、又は応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、雷等、天候の影響で起こった場合も含む。
(8) 自然災害や感染症等により、大会が実施されなかった際の全国大会出場チームの決定方法については、別に定める。
(9) 自然災害等により、 緊急的な対応が想定される場合の連絡手段は「県中地区中体連ＨＰ」(https://www.kenchuchiku.com)を用いて行う。

19 連 絡 先

〒963-1303　福島県郡山市熱海町玉川字阿曽沢山 19-2　　郡山市立熱海中学校
担当　丸岡　歳和（福島県中学校体育連盟スケート専門部委員長）
TEL：024-984-3167
E-mail：maruoka.toshikazu@fcs.ed.jp